

教職員研究グループ活動状況報告書

| | | |
|-----------------|-----------------------|------------------------------|
| 代表者の所 属・職・氏名 | 神戸市立有馬小学校 校長 水野 浩典 | 研究グループ名 (有馬キャリア教育研究推進団) |
|-----------------|-----------------------|------------------------------|

研究テーマ分類番号 (3)

| | |
|---------------------------------|---|
| (1)研究テーマ | |
| 「笑顔いっぱい やる気いっぱい 元気いっぱい」の有馬っ子の育成 | |
| (2)研究経過及び具体的な取組 | |
| 7月 9日 | 3～6年 チャレンジ茶道実施 ・実施場所：有馬福祉センター ・講師：ゲストティチャー（裏千家指導者） |
| 11日 | ミュージカル「竹取物語」の台本提案 ・内容：オータムフェスティバルで発表するミュージカル「竹取物語」の台本を提案する。 |
| 12日 | 3～6年 チャレンジ三味線実施 ・実施場所：有馬小学校 クラブハウス ・講師：ゲストティチャー（芸者） |
| 17日 | 児童アンケートによる実態調査（「hyper QU」を利用） |
| 19日 | ミュージカル「竹取物語」の配役決め |
| 20日 | 1・2年児童 ふれあいの食事会参加 ・実施場所：有馬福祉センター ・内容：食事会に行き、歌と踊りを食事のお礼に披露し、地域のお年寄りと一緒に楽しい一時を過ごす。 ・成果：コミュニケーション力をつけることと、自己有用感を伸ばす一助となっている。 |
| 24日 | 職員研修 ・アンケートの集約結果検討、児童への対応考察 結果：学級生活満足群 51%（全国平均 39.5%） 考察：全国平均より満足している児童が多いのはよいが、満足できている児童と不満足の子どもの分離が大きく、個々の学習意欲、建設的な友達関係を形成する意欲、学級活動への参加意欲を低下させているので、不満足の子どもの満足できるような対応を研究していかなばならない。 ・基礎学力・コミュニケーション力を培うための取組の見直し、話し合い ・運動会全校生演技（一輪車・組体操）内容の検討、計画 |
| 25日 | 職員研修 ・学級経営案の改善計画を立てる。 ・全校で取り組んでいる「はなしたいむ」「おはなしのねらいは?」「漢字テ |

スト」「算数テスト」「読書めざせ 100 冊 200 ポイント」「スマイルカード」などの改善計画

8月31日 ミュージカル「竹取物語」の台本作成

9月6日 読み聞かせ(10月4日、11月1日、12月6日)

- ・実施場所 有馬小学校 図書室(3～6年)と1年教室(1～2年)
- ・内 容 読み聞かせボランティアの保護者や地域の方が子どもたちへ選んだ本を読み聞かせして下さる。それを手本にして、ブック委員会の子どもたちが全校生に読み聞かせを実施する。
(9月19日、10月31日、11月15日、12月～3月 月1回)
- ・成 果 「めざせ 100 冊、200 ポイント」達成者が増えた。
ブック委員会の子どもは、読み聞かせの練習を教師指導のもとでも行うので、読み聞かせの技能がアップし自信をもつことができた。

6日 3～6年 チャレンジ三味線実施

- ・実施場所：有馬小学校 クラブハウス
- ・講 師：ゲストティチャー(芸者)

10日 3～6年 チャレンジ茶道実施

- ・実施場所：有馬福祉センター
- ・講 師：ゲストティチャー(裏千家指導者)

12日 運動会実施研修、道具作り

20日 5年児童 ふれあいの食事会参加

- ・実施場所：有馬福祉センター
- ・内 容：食事会に行き、組体操を食事のお礼に披露し、地域のお年寄りと一緒に楽しい一時を過ごす。
- ・成 果：コミュニケーション力をつけることと、自己有用感を伸ばす一助となっている。

23日 合同ふれあい運動会

- ・実施場所：有馬小学校 運動場
- ・内 容：一輪車、組体操演技の発表
- ・成 果：児童 35 名が練習の成果を出し、見事に演技を成功させ、「やればできる。」という気持ちをもつことができた。また、保護者や地域の方々や教職員からほめてもらい、児童一人一人の自信につながった。

10月1日 キャリア教育 観劇「なが～い 名前の ライオン」(みくくすじゅうす公演)

- ・目 的：ミュージカルを成功させるために、プロの演技を見て学ぶ。
- ・成 果：児童だけでなく、教員も演技のこつが分かり工夫できる場面が増えた。大道具、小道具作成のヒントもたくさんもらった。

3日 キャリア教育

- ・実施場所：有馬小学校 運動場
- ・内 容：ヴィッセルの選手がサッカーの技を披露したり、こつを教えて

くれたりした。

- ・講師：ヴィッセル K O B E 選手 2 名
- ・成果：児童の質問に答え、夢をかなえるためには、努力が必要であるということが児童に伝わった。

4 日 3 ~ 6 年 チャレンジ三味線実施

- ・実施場所：有馬小学校 クラブハウス
- ・講師：ゲストティチャー（芸者）

15 日 3 ~ 6 年 チャレンジ茶道実施

- ・実施場所：有馬福祉センター
- ・講師：ゲストティチャー（裏千家指導者）

18 日 3・4 年児童 ふれあいの食事会参加

- ・実施場所：有馬福祉センター
- ・内容：食事会に行き、歌とリコーダー演奏を食事のお礼に披露し、地域のお年寄りと楽しい一時を過ごす。
- ・成果：コミュニケーション力をつけることと、自己有用感を伸ばす一助となっている。

18 日 3 ~ 6 年 チャレンジ三味線実施

- ・実施場所：有馬小学校 クラブハウス
- ・講師：ゲストティチャー（芸者）

25 日 3 ~ 6 年 チャレンジ三味線実施

- ・実施場所：有馬小学校 クラブハウス
- ・講師：ゲストティチャー（芸者）

28 日 オータムフェスティバル（ミュージカル「竹取物語」、三味線発表会）

- ・実施場所：有馬小学校 講堂
- ・成果：全校生で取り組んできた、ミュージカル「竹取物語」。一人一人が自分の役の演技や歌や楽器の演奏を上手にこなし、ミュージカルを成功させることができた。2 日前の練習で変更したこともあったが、児童は柔軟に応じられる力もつけ成長できていた。三味線は、「さくら さくら」「ふるさと」「有馬音頭」の 3 曲を 3 ~ 6 年生が演奏し、会場から大きな拍手をいただいた。

30 日 葉ボタンの植え付け

- ・内容：5 年生が中心になって 7 月から種を植え付け苗を育ててきた。その苗を有馬町 4 箇所のプランターに植え付けに全校生で行く。雑草抜き、水遣りもする。1 学期はヒョウタン、3 学期はパンジーを植え付けする。10 年以上本校で続いている取組。
- ・成果：有馬の町を美しくする一助となっている喜びを児童がもつようになった。

11 月 9 日 癒しの森パトロール

- ・内容：全校生がふれあい自治協議会主催の「癒しの森パトロール」に参加。

- ・成 果：癒しの森の清掃、整備活動を手伝う。地域の方から教えてもらいながら、地域の方々が山道を美しくされている姿から学習することも多かった。楽しく話をしながら、コミュニケーション力の伸長にもつながった。

12日 3～6年 チャレンジ茶道実施

- ・実施場所：有馬小学校 クラブハウス
- ・講 師：ゲストティチャー（裏千家指導者）

15日 2年児童 ふれあいの食事会参加

- ・実施場所：有馬福祉センター
- ・内 容：食事会に行き、有馬の町の好きな季節と理由を一人一人が発表した。また、「ふるさと」の歌を自分達だけでまず歌い、次に食事会に来られた方々と一緒に歌った。
- ・成 果：コミュニケーション力をつけることと、自己有用感を伸ばす一助となった。「ふるさと」の歌と一緒に歌うことができ、参加した全員が感動してくださった。すばらしい交流ができるようになってきた。

12月 5日 今後の取組の計画、研究（全教職員）

キャリア教育 5、6年タウンガイド

- ・内 容：観光客に有馬町のガイドをする。

10日 3～6年 チャレンジ茶道実施

- ・実施場所：有馬福祉センター
- ・講 師：ゲストティチャー（裏千家指導者）